

設置年度

平成

31年度

計画の区分： 学部を設置

届出

東北生活文化大学

美術学部

美術表現学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人三島学園

令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

キョウムカチョウ マツダ トモコ
教務課長 松田 知子

電話番号

022-272-7513

（夜間）

022-272-7511

e-mail

dkyomu@mishima.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

美術学部

＜美術表現学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人三島学園

(2) 大 学 名

東北生活文化大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒981-8585

宮城県仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(オハ ｷｼ) 大庭 清 (令和元年5月)		
学 長	(サリ ｲﾅﾁ) 佐藤 一郎 (平成31年4月1日)		
学 部 長	(サリ ジｳﾝｲ) 佐藤 淳一 (平成31年4月1日)	(ﾐｶﾐ ﾋﾔｵ) 三上 秀夫	学部長交代のため 令和3年4月1日 (3)
学科長等	(サリ ジｳﾝｲ) 佐藤 淳一 (平成31年4月1日)	(ﾐｶﾐ ﾋﾔｵ) 三上 秀夫	学科長交代のため 令和3年4月1日 (3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
 令和3年度に報告する内容 → (3)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
美術学部 美術表現学科 学士(美術)	美術関係	年 4	人 50	年次 人	人 200		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	50人 (-) [-]	—人 (-) [-]	50人 (-) [-]	—人 (-) [-]	50人 (-) [-]	—人 (-) [-]	人 () []	人 () []	1.2倍	一倍	
志願者数	70 (-) [-]	— () []	115 (-) [-]	— () []	97 (-) [-]	— () []	() () []	() () []			
受験者数	70 (-) [-]	— () []	113 (-) [-]	— () []	93 (-) [-]	— () []	() () []	() () []			
合格者数	70 (-) [-]	— () []	83 (-) [-]	— () []	81 (-) [-]	— () []	() () []	() () []			
B 入学者数	45 (-) [-]	— () []	73 (-) [-]	— () []	62 (-) [-]	— () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	0.9		1.5		1.2						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	45 [ー] (一)	ー [ー] (一)	77 [1] (4)	ー [ー] (一)	63 [ー] (1)	ー [ー] (一)	 []	 []	 []	 []	
2 年次			40 [ー] (一)	ー [ー] (一)	75 [1] (2)	ー [ー] (一)	 []	 []	 []	 []	
3 年次					36 [ー] (一)	ー [ー] (一)	 []	 []	 []	 []	
4 年次					 []	 []	 []	 []			
計	45 [ー] (ー)		117 [1] (4)		174 [1] (3)		 []	 []	 []	 []	

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	45 人	0 人	令和元年度	0 人	人	
令和2年度	117 人	1 人	令和元年度	1 人	人	進路変更
			令和2年度	0 人	人	
令和3年度	174 人	5 人	令和元年度	5 人	人	他の教育機関への入学(4人) 学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和2年度	0 人	人	
			令和3年度	0 人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合 計		6 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{45} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{117} = \boxed{0.85} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{174} = \boxed{2.87} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<美術学部 美術表現学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】 1/4

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
大 学 共 通 教 養 科 目	人間と自然科学	化学Ⅰ	1前	2							1
		化学Ⅱ	1後	2							1
		有機化学Ⅰ	1後	2							1
		有機化学Ⅱ	2前	2							1
		生物学Ⅰ	1前	2							1
		生物学Ⅱ	1後	2							1
		環境学	2後	2							1
		統計学	1前	2							1
		数学	1後	2							1
	人間と社会	経済学	1前	2							1
		社会学Ⅰ	1前	2							1
		社会学Ⅱ	1後	2							1
		歴史Ⅰ	1前	2							1
		歴史Ⅱ	1後	2							1
	人間と文化	日本国憲法	1前	2							1
		法学概説	1後	2							1
		哲学Ⅰ	1前	2							1
		哲学Ⅱ	1後	2							1
		心理学Ⅰ	1前	2							1
	言語とコミュニケーション	心理学Ⅱ	1後	2							1
		美術	1後	2		1					1
		生活文化論	1前	2							1
		英語Ⅰ	1前	2							1
		英語Ⅱ	1後	2							1
	健康とスポーツ	英会話Ⅰ	1前	1							1
		英会話Ⅱ	1後	1							1
		仏語Ⅰ	1前	1							1
		仏語Ⅱ	1後	1							1
		中国語	1前	1							1
	キャリア形成	日本語基礎	1前	2							1
		国語表現法	1後	2							1
		情報基礎学	2前	2							1
		スポーツ身体科学	1後	2							1
		スポーツ	1通	2							1
	専門科目	武道	1前	1		1					1
		スタディスキルズ	1前	1		1					1
		ライフデザイン	1後	1							1
		キャリア開発Ⅰ	2前	1		1					1
		キャリア開発Ⅱ	2後	1		1					1
	基礎科目	キャリア開発Ⅲ	2後	1							1
		キャリア開発Ⅳ	3前	1							1
		キャリアサポートⅠ	3前	1		1					1
		キャリアサポートⅡ	4前	1		1					1
		小計(43科目)	-	4	68	0	4	0	0	0	19
	専門科目	絵画基礎Ⅰ	1前	2		1	1				3
		(映像メディア表現を含む。)									
		絵画基礎Ⅱ	1後	2		1					3
		彫刻基礎Ⅰ	1前	2		1					3
		彫刻基礎Ⅱ	1後	2		1					3
		工芸基礎Ⅰ	1前	2				2			3
		(プロダクト制作を含む。)									
		工芸基礎Ⅱ	1後	2				2			3
		デザイン基礎Ⅰ	1前	2		1	1				3
		(映像メディア表現を含む。)									
		デザイン基礎Ⅱ	1後	2		1	1				3
	基礎科目	メディア芸術基礎Ⅰ	1前	2		1					3
		メディア芸術基礎Ⅱ	1後	2		1					3
		小計(10科目)	-	10	10	0	4	1	3	0	3

【令和3年度】 1/4

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
大 学 共 通 教 養 科 目	人間と自然科学	化学Ⅰ	4前	2							1
		化学Ⅱ	4後	2							1
		有機化学Ⅰ	1後	2							1
		有機化学Ⅱ	4前	2							1
		生物学Ⅰ	1前	2							1
		生物学Ⅱ	3後	2							1
		環境学	4後	2							1
		統計学	4後	2							1
		数学	4前	2							1
	人間と社会	経済学	4前	2							1
		社会学Ⅰ	2前	2							1
		社会学Ⅱ	4後	2							1
		歴史Ⅰ	1前	2							1
		歴史Ⅱ	1後	2							1
	人間と文化	日本国憲法	2前	2							1
		法学概説	1後	2							1
		哲学Ⅰ	1前	2							1
		哲学Ⅱ	1後	2							1
		心理学Ⅰ	2前	2							1
	言語とコミュニケーション	心理学Ⅱ	2後	2							1
		美術	4後	2		1					1
		生活文化論	1前	2							1
		英語Ⅰ	4前	2							1
		英語Ⅱ	4後	2							1
	健康とスポーツ	英会話Ⅰ	1前	1							1
		英会話Ⅱ	4後	1							1
		仏語Ⅰ	1前	1							1
		仏語Ⅱ	1後	1							1
		中国語	1前	1							1
	キャリア形成	日本語基礎	1前	2							1
		国語表現法	1後	2							1
		情報基礎学	2前	2							1
		スポーツ	1通	2							1
		武道(未開講)	2前	1		1					1
	専門科目	スタディスキルズ	1前	1				2			1
		ライフデザイン	1後	1							1
		キャリア開発Ⅰ	2前	1		2					1
		キャリア開発Ⅱ	3後	1		2					1
		キャリア開発Ⅲ	3後	1							1
	基礎科目	キャリア開発Ⅳ	3前	1							1
		キャリアサポートⅠ	3前	1		1					1
		キャリアサポートⅡ	4前	1		1					1
		小計(42科目)	-	4	66	0	4	2			19
	専門科目	絵画基礎Ⅰ	1前	2		2	1				3
		(映像メディア表現を含む。)									
		絵画基礎Ⅱ	1後	2		1	1				3
		彫刻基礎Ⅰ	1前	2		1					3
		彫刻基礎Ⅱ	1後	2		1					3
		工芸基礎Ⅰ	1前	2				2			3
		(プロダクト制作を含む。)									
		工芸基礎Ⅱ	1後	2				2			3
		デザイン基礎Ⅰ	1前	2		1	2				3
		(映像メディア表現を含む。)									
		デザイン基礎Ⅱ	1後	2		1	1				3
	基礎科目	メディア芸術基礎Ⅰ	1前	2		2					3
		メディア芸術基礎Ⅱ	1後	2		2					3
		小計(10科目)	-	10	10	0	5	0	4	0	2

【認可時又は届出時】 2/4

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
美術	洋画Ⅰ	2前	2			1					
	洋画Ⅱ	2後	2			1					
	洋画Ⅲ	3前	2			1					
	洋画Ⅳ	3後	2			1					
	日本画Ⅰ	2前	2								1
	日本画Ⅱ	2後	2								1
	日本画Ⅲ	3前	2								1
	日本画Ⅳ	3後	2								1
	版画Ⅰ	2前	2					1			
	版画Ⅱ	2後	2					1			
	版画Ⅲ	3前	2					1			
	版画Ⅳ	3後	2					1			
	壁画Ⅰ	2前	2							1	
	壁画Ⅱ	2後	2							1	
	壁画Ⅲ	3前	2							1	
	壁画Ⅳ	3後	2							1	
	彫刻Ⅰ	2前	2			1					
	彫刻Ⅱ	2後	2			1					
	彫刻Ⅲ	3前	2			1					
	彫刻Ⅳ	3後	2			1					
	人形Ⅰ	2前	2								1
	人形Ⅱ	2後	2								1
	人形Ⅲ	3前	2								1
	人形Ⅳ	3後	2								1
	小計(24科目)	-	48			2	0	1	0	0	3
専門科目	陶芸Ⅰ	2前	2					1			
	陶芸Ⅱ	2後	2					1			
	陶芸Ⅲ	3前	2					1			
	陶芸Ⅳ	3後	2					1			
	漆芸Ⅰ	2前	2								1
	漆芸Ⅱ	2後	2								1
	漆芸Ⅲ	3前	2								1
	漆芸Ⅳ	3後	2								1
	染織Ⅰ	2前	2					1			
	染織Ⅱ	2後	2					1			
	染織Ⅲ	3前	2					1			
	染織Ⅳ	3後	2					1			
	ガラスアートⅠ	2前	2								1
	ガラスアートⅡ	2後	2								1
	ガラスアートⅢ	3前	2								1
	ガラスアートⅣ	3後	2								1
	小計(16科目)	-	32			0	0	2	0	0	3
	視覚デザインⅠ	2前	2			1					
	視覚デザインⅡ	2後	2			1					
	視覚デザインⅢ	3前	2			1					
	視覚デザインⅣ	3後	2			1					
	情報デザインⅠ	2前	2				1				
	情報デザインⅡ	2後	2				1				
	情報デザインⅢ	3前	2				1				
	情報デザインⅣ	3後	2				1				
	プロダクトデザインⅠ	2前	2					1			
	プロダクトデザインⅡ	2後	2					1			
	プロダクトデザインⅢ	3前	2					1			
	プロダクトデザインⅣ	3後	2					1			
	小計(12科目)	-	24			1	1	1	0	0	0
	マンガ・イラストⅠ	2前	2								1
	マンガ・イラストⅡ	2後	2								1
	マンガ・イラストⅢ	3前	2								1
	マンガ・イラストⅣ	3後	2								1
	アニメ・ゲームⅠ	2前	2			1					
	アニメ・ゲームⅡ	2後	2			1					
	アニメ・ゲームⅢ	3前	2			1					
	アニメ・ゲームⅣ	3後	2			1					
	小計(8科目)	-	16			1	0	0	0	0	2

【令和3年度】 2/4

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
美術	洋画Ⅰ	2前	2			1					
	洋画Ⅱ	2後	2			1					
	洋画Ⅲ	3前	2			1					
	洋画Ⅳ	3後	2			1					
	日本画Ⅰ	2前	2								1
	日本画Ⅱ	2後	2								1
	日本画Ⅲ	3前	2								1
	日本画Ⅳ	3後	2								1
	版画Ⅰ	2前	2					1			
	版画Ⅱ	2後	2					1			
	版画Ⅲ	3前	2								1
	版画Ⅳ	3後	2								1
	壁画Ⅰ	2前	2								1
	壁画Ⅱ	2後	2								1
	壁画Ⅲ	3前	2								1
	壁画Ⅳ	3後	2								1
	彫刻Ⅰ	2前	2			1					
	彫刻Ⅱ	2後	2			1					
	彫刻Ⅲ	3前	2			1					
	彫刻Ⅳ	3後	2			1					
	人形Ⅰ	2前	2								1
	人形Ⅱ	2後	2								1
	人形Ⅲ	3前	2								1
	人形Ⅳ	3後	2								1
	小計(24科目)	-	48			2	0	1	0	0	4
専門科目	陶芸Ⅰ	2前	2					1			
	陶芸Ⅱ	2後	2					1			
	陶芸Ⅲ	3前	2					1			
	陶芸Ⅳ	3後	2					1			
	漆芸Ⅰ	2前	2								1
	漆芸Ⅱ	2後	2								1
	漆芸Ⅲ	3前	2								1
	漆芸Ⅳ	3後	2								1
	染織Ⅰ	2前	2					1			
	染織Ⅱ	2後	2					1			
	染織Ⅲ	3前	2					1			
	染織Ⅳ	3後	2					1			
	ガラスアートⅠ	2前	2								1
	ガラスアートⅡ	2後	2								1
	ガラスアートⅢ	3前	2								1
	ガラスアートⅣ	3後	2								1
	小計(16科目)	-	32			0	0	2	0	0	2
	視覚デザインⅠ	2前	2			1					
	視覚デザインⅡ	2後	2			1					
	視覚デザインⅢ	3前	2			1					
	視覚デザインⅣ	3後	2			1					
	情報デザインⅠ	2前	2			1					
	情報デザインⅡ	2後	2			1					
	情報デザインⅢ	3前	2			1					
	情報デザインⅣ	3後	2			1					
	プロダクトデザインⅠ	2前	2					1			
	プロダクトデザインⅡ	2後	2					1			
	プロダクトデザインⅢ	3前	2					1			
	プロダクトデザインⅣ	3後	2					1			
	小計(12科目)	-	24			2	0	1	0	0	0
	マンガ・イラストⅠ	2前	2								2
	マンガ・イラストⅡ	2後	2								2
	マンガ・イラストⅢ	3前	2								2
	マンガ・イラストⅣ	3後	2								2
	アニメ・ゲームⅠ	2前	2			1		1			
	アニメ・ゲームⅡ	2後	2			1		1			
	アニメ・ゲームⅢ	3前	2			1		1			
	アニメ・ゲームⅣ	3後	2			1		1			
	小計(8科目)	-	16			1	0	1	0	0	2

【認可時又は届出時】 3/4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	色彩学	1前	2			1					
	美術史Ⅰ	1前	2			1					
	美術史Ⅱ	1後	2			1					
	デザイン概論	2後	2			1					
	美学Ⅰ	2前	2								1
	美学Ⅱ	2後	2								1
	美術鑑賞Ⅰ	2後	2			1					
	美術鑑賞Ⅱ	4通	4			1					
	メディア芸術論	3前	2								1
	地域工芸論	3後	2								1
	論文演習Ⅰ	2前	1			1					
	論文演習Ⅱ	2後	1			1					
	論文演習Ⅲ	3前	1			1					
	論文演習Ⅳ	3後	1			1					
	小計(14科目)	-	4	22		2	0	1	0	0	3
専門科目	製図Ⅰ	2前	1								1
	製図Ⅱ	2後	1								1
	図学Ⅰ	3前	1								1
	図学Ⅱ	3後	1								1
	インテリアデザインⅠ	4前	1								1
	インテリアデザインⅡ	4後	1								1
	写真Ⅰ	4前	1								1
	写真Ⅱ	4後	1								1
	美術特別講義Ⅰ	1前	1			1					
	美術特別講義Ⅱ	1後	1								1
	美術特別講義Ⅲ	2前	1								1
	美術特別講義Ⅳ	2後	1								1
	美術特別講義Ⅴ	4前	1								1
	美術特別講義Ⅵ	4後	1								1
	美術教諭試験対策講座Ⅰ	3後	2								1
	美術教諭試験対策講座Ⅱ	4前	2								1
	小計(16科目)	-	0	18		1	0	0	0	0	8
応用科目	地域創生演習Ⅰ	1前	1			1	1				
	地域創生演習Ⅱ	1後	1			1		1			
	地域創生演習Ⅲ	2前	1			1		1			
	地域創生演習Ⅳ	2後	1			1		2			
	地域創生演習Ⅴ	3前	1			3					
	地域創生演習Ⅵ	3後	1			2					
	小計(6科目)	-	2	4		5	1	4	0	0	
	卒業研究Ⅰ	4前	6			5	1	4			
	卒業研究Ⅱ	4後	6			5	1	4			
	小計(2科目)	-	12			5	1	4	0	0	
合計(151科目)			-	32	242	0	5	1	4	0	0
教職に関する科目	教育原理	2前	2								1
	教職概論	1前	2								1
	教育制度論	3前	2								1
	教育心理学	2前	2								1
	特別支援教育	3前	1								1
	教育課程論	2後	2								1
	道德教育の指導法	3前	2								1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2前	2								1
	教育方法論	2後	2								2
	生徒指導の理論と方法A(道徳指導の理論及び方法を含む。)	3後	2								1
	教育相談	3後	2								1
	教育実習Ⅰ(事前事後指導を含む。)	4通	5								2
	教育実習Ⅱ(事前事後指導を含む。)	4通	3								2
	教職実践演習(中・高)	4後	2								2
	美術科教育法Ⅰ	3通	4								1
	美術科教育法Ⅱ	4通	4								1
	工芸科教育法	3通	4			1					
	小計(17科目)	-	0	43	0	1	0	0	0	0	7

【令和3年度】 3/4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	色彩学	1前	2								1
	美術史Ⅰ	1前	2			1					
	美術史Ⅱ	1後	2			1					
	デザイン概論	2後	2			1					
	美学Ⅰ	2前	2								1
	美学Ⅱ	2後	2								1
	美術鑑賞Ⅰ	2後	2			1					
	メディア芸術論	3前	2					1			1
	地域工芸論	3後	2								1
	論文演習Ⅰ	2前	1			1					
	論文演習Ⅱ	2後	1			1					
	論文演習Ⅲ	3前	1			1					
	論文演習Ⅳ	3後	1			1					
	小計(13科目)	-	4	18	0	2	0	1	0	0	4
専門科目	製図Ⅰ	2前	1								1
	製図Ⅱ	2後	1								1
	図学Ⅰ	3前	1								1
	図学Ⅱ	3後	1								1
	美術特別講義Ⅰ	1前	1					2			
	美術特別講義Ⅱ	1前	1								1
	美術特別講義Ⅲ	2前	1								3
	美術特別講義Ⅳ	2後	1								3
	美術教諭試験対策講座Ⅰ	3後	2								1
	小計(9科目)	-	0	10	0	0	0	2	0	0	8
応用科目	地域創生演習Ⅰ	1前	1					1			
	地域創生演習Ⅱ	1後	1					1			
	地域創生演習Ⅲ	2前	1								1
	地域創生演習Ⅳ	2後	1								1
	地域創生演習Ⅴ	3前	1								1
	地域創生演習Ⅵ	3後	1								1
	小計(6科目)	-	2	4	0	0	0	1	0	0	1
	小計(0科目)	-									
	小計(0科目)	-									
	小計(0科目)	-									
合計(140科目)			-	0	228	0	6	0	4	0	0
教職に関する科目	教育原理	2前	2					1			1
	教職概論	1後	2								1
	教育制度論	3前	2					1			
	教育心理学	2前	2								1
	特別支援教育	3前	1								1
	教育課程論	2後	2					1			1
	道德教育の指導法	3前	2								1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2前	2								1
	教育方法論	2後	2								2
	生徒指導の理論と方法A(道徳指導の理論及び方法を含む。)	3後	2								2
	教育相談	3後	2								1
	美術科教育法Ⅰ	3通	4								1
	工芸科教育法	3通	4			1					
	小計(13科目)	-	0	29	0	1	0	1	0	0	11

【認可時又は届出時】 4/4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
博物館に関する科目	生涯学習概論	1後	2								1
	博物館概論	1前	2								1
	博物館経営論	3前	2								1
	博物館資料論	2後	2								1
	博物館資料保存論	2前	2								1
	博物館展示論	3後	2								1
	博物館情報・メディア論	2後	2								1
	博物館教育論	1後	2								1
	博物館実習Ⅰ(学内・見学実習を含む。)	3前	2			1					
	博物館実習Ⅱ(教職実習、事前・事後指導を含む。)	3後									
	博物館実習Ⅱ(教職実習、事前・事後指導を含む。)	4前	1			1					
小計(10科目)			0	19	0	1	0	0	0	0	5
卒業要件及び履修方法											
必修科目32単位、大学共通教養科目の中から22単位以上を修得すること。また、「美術・工芸コース」では、専門科目の「美術」「工芸」区分の科目から16単位以上、「デザイン・メディア芸術コース」では、専門科目の「デザイン」「メディア芸術」区分の科目から16単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位(年間)) 教職に関する科目、博物館に関する科目は卒業要件単位に含めない。											

【令和3年度】 4/4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
博物館に関する科目	生涯学習概論	1後	2								1
	博物館概論	1前	2								1
	博物館経営論	3前	2								1
	博物館資料論	2後	2								1
	博物館資料保存論	2前	2								1
	博物館展示論	3後	2								1
	博物館情報・メディア論	2後	2								1
	博物館教育論	1後	2								1
	博物館実習Ⅰ(学内・見学実習を含む。)	3前	2								1
	博物館実習Ⅱ(教職実習、事前・事後指導を含む。)	3後									
	博物館実習Ⅱ(教職実習、事前・事後指導を含む。)	4前	1								
小計(9科目)			0	18	0	0	0	1	0	0	5
卒業要件及び履修方法											
必修科目32単位、大学共通教養科目の中から22単位以上を修得すること。また、「美術・工芸コース」では、専門科目の「美術」「工芸」区分の科目から16単位以上、「デザイン・メディア芸術コース」では、専門科目の「デザイン」「メディア芸術」区分の科目から16単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位(年間)) 教職に関する科目、博物館に関する科目は卒業要件単位に含めない。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【令和元年度】 1/4

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学 共通 教養 科目	人間と自然科学	化学Ⅰ	1前		2							1	
		化学Ⅱ	1後		2							1	
		有機化学Ⅰ	1後		2							1	
		生物学Ⅰ	1前		2							1	
		生物学Ⅱ	1後		2							1	
		統計学	1前		2							1	
		数学	1後		2							1	
	人間と社会	経済学	1前		2							1	
		社会学Ⅰ	1前		2							1	
		社会学Ⅱ	1後		2							1	
		歴史Ⅰ	1前		2							1	
		歴史Ⅱ	1後		2							1	
		日本国憲法	1前	2								1	
		法学概説	1後		2							1	
	人間と文化	哲学Ⅰ	1前		2							1	
		哲学Ⅱ	1後		2							1	
		心理学Ⅰ	1前		2							1	
		心理学Ⅱ	1後		2							1	
		美術	1後		2		1					1	
		生活文化論	1前		2							1	
		英語Ⅰ	1前		2							1	
	言語とコミュニケーション	英語Ⅱ	1後		2							1	
		英会話Ⅰ	1前		1							1	
		英会話Ⅱ	1後		1							1	
		仏語Ⅰ	1前		1							1	
		仏語Ⅱ	1後		1							1	
		中国語	1前		1							1	
		日本語基礎	1前		2							1	
		国語表現法	1後		2							1	
	健康とスポーツ	スポーツ身体科学	1後		2							1	
		スポーツ	1通		2							1	
		武道	1前		1		1					1	
	キャリア形成	スタディスキルズ	1前	1			1					1	
ライフデザイン		1後	1								1		
小計(43科目)		－	4	56	0	3	0	0	0	0	16		
専門 科目	基礎科目	絵画基礎Ⅰ (映像メディア表現を含む。)	1前	2			1	1					
		絵画基礎Ⅱ	1後		2		1						
		彫刻基礎Ⅰ	1前	2			1						
		彫刻基礎Ⅱ	1後		2		1						
		工芸基礎Ⅰ (プロダクト制作を含む。)	1前	2					2			3	
		工芸基礎Ⅱ	1後		2				2			3	
		デザイン基礎Ⅰ (映像/デザイン表現を含む。)	1前	2			1	1					
		デザイン基礎Ⅱ	1後		2		1	1					
		メディア芸術基礎Ⅰ	1前	2			1						
		メディア芸術基礎Ⅱ	1後		2		1						
		小計(10科目)		－	10	10	0	4	1	3	0	0	3

【令和2年度】 1/4

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学 共通 教養 科目	人間と自然科学	有機化学Ⅰ	1後		2								1	
		生物学Ⅰ	1前		2								1	
	人間と社会	歴史Ⅰ	1前		2								1	
		歴史Ⅱ	1後		2								1	
		法学概説	1後		2								1	
	人間と文化	哲学Ⅰ	1前		2								1	
		哲学Ⅱ	1後		2								1	
		生活文化論	1前		2								1	
	言語とコミュニケーション	英会話Ⅰ	1前		1								1	
		仏語Ⅰ	1前		1								1	
		仏語Ⅱ	1後		1								1	
		中国語	1前		1								1	
		日本語基礎	1前		2								1	
		国語表現法	1後		2								1	
		情報基礎学	2前		2								1	
	健康とスポーツ	スポーツ	1通		2								1	
		武道(未開講)	2前		1		1							
	キャリア形成	スタディスキルズ	1前	1			1		1				1	
		ライフデザイン	1後	1									1	
		キャリア開発Ⅰ	2前		1		1							
		キャリア開発Ⅱ	2後		1		1							
		キャリア開発Ⅲ	2後		1								1	
		小計(19科目)	-	2	30	0	2	0	1	0	0	14		
専門 科目	基礎科目	絵画基礎Ⅰ (映像メディア表現を含む。)	1前	2			1	1						
		絵画基礎Ⅱ	1後		2		1							
		彫刻基礎Ⅰ	1前	2			1							
		彫刻基礎Ⅱ	1後		2		1							
		工芸基礎Ⅰ (プロダクト制作を含む。)	1前	2					2				3	
		工芸基礎Ⅱ	1後		2				2				3	
		デザイン基礎Ⅰ (映像/デザイン表現を含む。)	1前	2			1	1	1					
		デザイン基礎Ⅱ	1後		2		1	1	1					
		メディア芸術基礎Ⅰ	1前	2			1							
		メディア芸術基礎Ⅱ	1後		2		1							
			小計(10科目)	-	10	10	0	4	1	3	0	0	3	

【令和元年度】 2/4

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
美 術											
	小計(0科目)	-	0	0	0	0	0	0	0	0	
専 門 工 科 芸 目											
	小計(0科目)	-	0	0	0	0	0	0	0	0	
デザイン											
	小計(0科目)	-	0	0	0	0	0	0	0	0	
メディア芸術											
	小計(0科目)	-	0	0	0	0	0	0	0	0	

【令和2年度】 2/4

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
美 術	洋画Ⅰ	2前		2		1					
	洋画Ⅱ	2後		2		1					
	日本画Ⅰ	2前		2							1
	日本画Ⅱ	2後		2							1
	版画Ⅰ	2前		2				1			
	版画Ⅱ	2後		2				1			
	壁画Ⅰ	2前		2							1
	壁画Ⅱ	2後		2							1
専 門 工 科 芸 目	彫刻Ⅰ	2前		2		1					
	彫刻Ⅱ	2後		2		1					
	人形Ⅰ	2前		2							1
	人形Ⅱ	2後		2							1
	小計(12科目)	-	0	24	0	2	0	1	0	0	3
	陶芸Ⅰ	2前		2				1			
	陶芸Ⅱ	2後		2				1			
	漆芸Ⅰ	2前		2							1
	漆芸Ⅱ	2後		2							1
デザイン											
	染織Ⅰ	2前		2				1			
	染織Ⅱ	2後		2				1			
	ガラスアートⅠ	2前		2							1
	ガラスアートⅡ	2後		2							1
	小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	2	0	0	2
	視覚デザインⅠ	2前		2		1					
	視覚デザインⅡ	2後		2		1					
	情報デザインⅠ	2前		2			1				
メディア芸術	情報デザインⅡ	2後		2			1				
	プロダクトデザインⅠ	2前		2				1			
	プロダクトデザインⅡ	2後		2				1			
	小計(6科目)	-	0	12	0	1	1	1	0	0	
	マンガ・イラストⅠ	2前		2							1
	マンガ・イラストⅡ	2後		2							1
	アニメ・ゲームⅠ	2前		2		1					
	アニメ・ゲームⅡ	2後		2		1					
	小計(4科目)	-	0	8	0	1	0	0	0	0	1

【令和元年度】 3/4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	色彩学	1前		2				1			
	美術史Ⅰ	1前		2		1					
	美術史Ⅱ	1後		2		1					
	美術理論										
	小計(3科目)	-	0	6	0	1	0	1	0	0	
	美術特別講義Ⅰ	1前		1		1					
	美術特別講義Ⅱ	1後		1							1
	小計(2科目)	-	0	2	0	1	0	0	0	0	1
	地域創生演習Ⅰ	1前	1			1	1				
	地域創生演習Ⅱ	1後	1			1		1			
応用科目	小計(2科目)	-	2	0	0	1	1	1	0	0	
	小計(0科目)	-									
	合計(151科目)	-	0	74	0	5	1	4	0	0	
	教職概論	1前		2							1
教職に関する科目	小計(1科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	1

【令和2年度】 3/4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	色彩学	1前		2				1			
	美術史Ⅰ	1前		2		1					
	美術史Ⅱ	1後		2		1					
	デザイン概論	2後		2		1					
	美学Ⅰ	2前		2							1
	美学Ⅱ	2後		2							1
	美術鑑賞Ⅰ	2後		2		1					
	論文演習Ⅰ	2前		1		1					
	論文演習Ⅱ	2後		1		1					
	小計(9科目)	-	0	16	0	2	0	1	0	0	1
専門科目	製図Ⅰ	2前		1							1
	製図Ⅱ	2後		1							1
	美術特別講義Ⅰ	1前		1		1					
	美術特別講義Ⅱ	1後		1							1
	美術特別講義Ⅲ	2前		1							1
	美術特別講義Ⅳ	2後		1							1
	小計(6科目)	-	0	4	0	1	0	0	0	0	3
	地域創生演習Ⅰ	1前	1			1					1
	地域創生演習Ⅱ	1後	1			1					1
	地域創生演習Ⅲ	2前		1		1		1			1
応用科目	地域創生演習Ⅳ	2後		1		1		1			1
	小計(4科目)	-	2	2	0	2	0	2	0	0	3
	小計(0科目)	-									
	合計(78科目)	-	0	74	0	5	1	4	0	0	
教職に関する科目	教育原理	2前		2				1			
	教職概論	1前		2							1
	教育心理学	2前		2							1
	教育課程論	2後		2				1			
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2前		2							1
	教育方法論	2後		2							2
教職に関する科目	小計(6科目)	-	0	12	0	0	0	1	0	0	5

【令和元年度】 4/4

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
博 物 館 に 関 する 科 目	生涯学習概論	1後		2								1
	博物館概論	1前		2								1
	博物館教育論	1後		2								1
小計(3科目)		-	0	6	0	0	0	0	0	0	0	2
卒業要件及び履修方法												
必修科目32単位、大学共通教養科目の中から22単位以上を修得すること。また、「美術・工芸コース」では、専門科目の「美術」「工芸」区分の科目から16単位以上、「デザイン・メディア芸術コース」では、専門科目の「デザイン」「メディア芸術」区分の科目から16単位以上修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位(年間)) 教職に関する科目、博物館に関する科目は卒業要件単位に含めない。												

【令和2年度】 4/4

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
博 物 館 に 関 する 科 目	生涯学習概論	1後		2								1
	博物館概論	1前		2								1
	博物館資料論	2後		2								1
	博物館資料保存論	2前		2								1
	博物館情報・メディア論	2後		2								1
	博物館教育論	1後		2								1
	小計(6科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	0	4
卒業要件及び履修方法												
必修科目32単位、大学共通教養科目の中から22単位以上を修得すること。また、「美術・工芸コース」では、専門科目の「美術」「工芸」区分の科目から16単位以上、「デザイン・メディア芸術コース」では、専門科目の「デザイン」「メディア芸術」区分の科目から16単位以上修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:50単位(年間)) 教職に関する科目、博物館に関する科目は卒業要件単位に含めない。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

特になし。

【令和2年度】

1. 単位上限を踏まえ、大学共通教養科目の一部科目の配当年次の変更を行った。

「化学Ⅰ」(1前から4前)、「化学Ⅱ」(1後から4後)、「有機化学Ⅱ」(2前から4前)、「生物学Ⅱ」(1後から3後)、「環境学」(2後から4後)、「統計学」(1前から4後)、「数学」(1後から4前)、「経済学」(1前から4前)、「社会学Ⅰ」(1前から2前)「社会学Ⅱ」(1後から4後)、「日本国憲法」(1前から2前)、「心理学Ⅰ」(1前から2前)、「心理学Ⅱ」(1後から2後)「美術」(1後から4後)、「英語Ⅰ」(1前から4前)、「英語Ⅱ」(1後から4後)、「英会話Ⅱ」(1後から4後)、「武道」(1前から2前)「キャリア開発Ⅱ」(2後から3後)、「キャリア開発Ⅲ」(2後から3後)

【令和3年度】

- ・「スクディスキルズ」、「美術特別講義Ⅰ」の担当者は、1年次担任教員が担当することになっているため専任教員変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「キャリア開発Ⅰ」「キャリア開発Ⅱ」の担当者に専任教授1名追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「絵画基礎Ⅰ(映像メディア表現を含む。)」の担当者から専任准教授を削除し、専任教授1名、専任講師1名追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「絵画基礎Ⅱ」の担当者に専任講師1名追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「デザイン基礎Ⅰ(映像メディア表現を含む。)」の担当者から専任准教授を削除し、専任講師2名に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「デザイン基礎Ⅱ」の担当者から専任准教授を削除し、専任講師1名追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「メディア芸術基礎Ⅰ」「メディア芸術基礎Ⅱ」の担当者に専任教授1名追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「工芸基礎Ⅰ」「工芸基礎Ⅱ」の兼任教員担当者を3名から2名に変更。
- ・専任講師1名の定年退職に伴い、「版画Ⅰ」「版画Ⅱ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の担当者を新規採用専任講師1名に変更。
- ・専任講師1名の定年退職に伴い、「版画Ⅲ」「版画Ⅳ」の担当者を兼任講師1名に変更。
- ・専任講師1名の定年退職に伴い、「色彩学」の担当者を兼任講師1名に変更。
- ・専任准教授1名が専任教授に昇任。
- ・教育課程編成上の都合により、「ガラスアートⅠ」「ガラスアートⅡ」担当者を「ガラスアートⅢ」「ガラスアートⅣ」の兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「マンガ・イラストⅠ」「マンガ・イラストⅡ」「マンガ・イラストⅢ」「マンガ・イラストⅣ」の担当者に兼任講師1名追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「アニメ・ゲームⅠ」「アニメ・ゲームⅡ」「アニメ・ゲームⅢ」「アニメ・ゲームⅣ」の担当者に専任講師1名追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「メディア芸術論」の担当者に専任講師1名追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「美術特別講義Ⅱ」を1後から1前に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「美術特別講義Ⅲ」「美術特別講義Ⅳ」の担当者に兼任講師各2名追加。
- ・各学年の担任教員で担当していた、「地域創生演習Ⅰ」「地域創生演習Ⅱ」を専任講師1名が、「地域創生演習Ⅲ」「地域創生演習Ⅳ」「地域創生演習Ⅴ」「地域創生演習Ⅵ」を兼任講師1名で担当することに変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」の担当者を変更。(兼任講師1名)
- ・教育課程編成上の都合により、「日本語基礎」「国語表現法」の担当者を変更。(兼任講師1名)
- ・教育課程編成上の都合により、「教職概論」を1前から1後に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「教育原理」の担当者に兼任講師1名追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「生徒指導の理論と方法A(進路指導の理論及び方法を含む。)」の担当者に兼任講師1名追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「教育課程論」の担当者に兼任講師1名追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「教育相談」の担当者を変更。(兼任講師1名)
- ・教育課程編成上の都合により、「博物館実習Ⅰ(学内・見学実習を含む。)」「博物館実習Ⅱ」の担当者を専任教授1名から専任講師1名に変更。併せて「博物館実習Ⅰ(学内・見学実習を含む。)」に兼任講師1名追加。

【令和4年度】

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
14 科目	137 科目	0 科目	151 科目	科目	136 科目	科目	150 科目	
				[]	[△1]	[]	[△1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	美術特別講義Ⅰ	1	1前	専門	選択	新型コロナウイルス感染症拡大のため
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

美術特別講義Ⅰは、美術を学ぶための導入と捉え、主に東京方面の美術館、博物館、画廊等を見学研修し興味を喚起しながら、美術分野の基礎的知識や学習態度を身につけることを目標にしている科目のため、コロナ禍の現在、県外への研修は危険と判断し今年度は未開講とした。学生へはガイダンス等で周知しており、今後の状況によっては開講する旨を説明している。

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{151} = \boxed{0.66} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	東北生活文化大学短期 大学部と共用 (収容定 員200名、必要面積 2,000㎡) 同高等学校と共用 (高 校収容定員: 1, 170 名、必要面積81, 900 ㎡)			
	校 舎 敷 地	1 0 , 2 1 1 ㎡	8 , 9 9 2 ㎡	3 6 , 9 1 2 ㎡	5 6 , 1 1 5 ㎡				
	運動場用地	0 ㎡	4 4 , 2 0 6 ㎡	0 ㎡	4 4 , 2 0 6 ㎡				
	小 計	1 0 , 2 1 1 ㎡	5 3 , 1 9 8 ㎡	3 6 , 9 1 2 ㎡	1 0 0 , 3 2 1 ㎡				
	そ の 他	0 ㎡	1 , 3 5 4 ㎡	3 , 6 2 9 ㎡	4 , 9 8 3 ㎡				
	合 計	1 0 , 2 1 1 ㎡	5 4 , 5 5 2 ㎡	4 0 , 5 4 1 ㎡	1 0 5 , 3 0 4 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	東北生活文化大学短期 大学部と共用 (収容定 員200名、必要面積 2, 350㎡)、同高等学校 と共用 (収容定員 1, 170名、必要面積 11, 700㎡)				
	9 , 9 7 1 ㎡ (9 , 9 7 1 ㎡)	2 , 8 8 1 ㎡ (2 , 8 8 1 ㎡)	1 5 , 9 8 3 ㎡ (1 5 , 9 8 3 ㎡)	2 8 , 8 3 5 ㎡ (2 8 , 8 3 5 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	1 2 室	4 室	3 6 室	2 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	美術学部 美術学科			1 1 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 図書 72, 167 [5, 512] 72, 072 [5, 504] 学術雑誌 223 [41] 223 [41]	
	美術学部	15, 597 [2, 082] (15, 164 [2, 087]) (14, 972 [2, 084])	83 [18] (84 [18]) (84 [18])	0 [0] (0 [0]) (0 [0])	584 (627) (626)	23 (23) (23)	0 (0) (0)		
	計	15, 597 [2, 082] (15, 164 [2, 087]) (14, 972 [2, 084])	83 [18] (84 [18]) (84 [18])	0 [0] (0 [0]) (0 [0])	584 (627) (626)	23 (23) (23)	0 (0) (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	6 7 2 , 0 6 ㎡		7 6 席		約 7 4 , 0 0 0 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	1 , 4 5 5 ㎡								
(8) 経費の見積り及び 維持方法 の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・研究費：地域貢献分 が増額 (2) ・図書：開設前の既存 図書が充分であった。 (2) ・設備費：完成年度に 共通部門のOA教室等備 品の更新予定 (2)
		教員1人当り研究費等	300千円	340千円 300千円	図書購入費	602千円 2,000千円	800千円 2,000千円	800千円 2,000千円	
		共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	1, 723千円 10,000千円	4, 150千円 7,000千円	11, 500千円 7,000千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1, 320千円	1, 040千円	1, 040千円	1, 040千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、寄付金収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
- ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称						学生募集停止学科数		1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	定員変更 (10) 平成31年学生募集停止
家政学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
家政学科	4	58	3年次2		-	0.94	1.09	-	昭和33	-	
生活美術学科	4	58	2	236	学士 (家政)	0.94	1.09	-	昭和33	宮城県仙台市青葉区松の丘1丁目18番地の2	
美術学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和40	同上	
美術表現学科	4	50	0	200	-	1.20	1.24	-	平成31	-	
美術表現学科	4	50	0	200	学士 (美術)	1.20	1.24	-	平成31	宮城県仙台市青葉区松の丘1丁目18番地の2	
大学全体	-		2	236	-	-	-	-	-	-	
大 学 の 名 称						学生募集停止学科数		0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
生活文化学科	2	100	-	200	短期大学士 (生活文化)	0.75	0.68	-	昭和26	宮城県仙台市青葉区松の丘1丁目18番地の2	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜美術学部 美術表現学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別		氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名						
専	教授	北折 豊 (59) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士	専	教授	北折 豊 (60) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士	専	教授	北折 豊 (61) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士
		美術 絵画基礎Ⅰ (映像) / 表現を含む。Ⅰ※ 絵画基礎Ⅱ 洋画Ⅰ 洋画Ⅱ 洋画Ⅲ 洋画Ⅳ 地域創生演習Ⅴ※ 地域創生演習Ⅵ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			美術 絵画基礎Ⅰ (映像) / 表現を含む。Ⅰ※ 絵画基礎Ⅱ 洋画Ⅰ 洋画Ⅱ 洋画Ⅲ 洋画Ⅳ 地域創生演習Ⅴ※ 地域創生演習Ⅵ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			美術 絵画基礎Ⅱ※ 洋画Ⅰ 洋画Ⅱ 洋画Ⅲ 洋画Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
		佐藤 淳一 (63) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士			佐藤 淳一 (64) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士			佐藤 淳一 (65) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士
		武道 キャリアサポートⅠ キャリアサポートⅡ 彫刻基礎Ⅰ 彫刻基礎Ⅱ 彫刻Ⅰ 彫刻Ⅱ 彫刻Ⅲ 彫刻Ⅳ 地域創生演習Ⅲ※ 地域創生演習Ⅵ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			武道 キャリアサポートⅠ キャリアサポートⅡ 彫刻基礎Ⅰ 彫刻基礎Ⅱ 彫刻Ⅰ 彫刻Ⅱ 彫刻Ⅲ 彫刻Ⅳ 地域創生演習Ⅲ※ 地域創生演習Ⅵ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			武道 彫刻基礎Ⅱ 彫刻Ⅰ 彫刻Ⅱ 彫刻Ⅲ 彫刻Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
		三上 秀夫 (57) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士			三上 秀夫 (58) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士			三上 秀夫 (59) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士
		スタジオキルズ デザイン基礎Ⅰ※ (映像) / 表現を含む。Ⅰ デザイン基礎Ⅱ※ 視覚デザインⅠ 視覚デザインⅡ 視覚デザインⅢ 視覚デザインⅣ デザイン概論 美術特別講義Ⅰ 地域創生演習Ⅰ※ 地域創生演習Ⅴ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 博物館実習Ⅰ※ (学内・見学実習を含む。Ⅰ) 博物館実習Ⅱ (図案実習、彫刻・彫像実習を含む。Ⅰ)			スタジオキルズ デザイン基礎Ⅰ※ (映像) / 表現を含む。Ⅰ デザイン基礎Ⅱ※ 視覚デザインⅠ 視覚デザインⅡ 視覚デザインⅢ 視覚デザインⅣ デザイン概論 美術特別講義Ⅰ 地域創生演習Ⅰ※ 地域創生演習Ⅴ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 博物館実習Ⅰ※ (学内・見学実習を含む。Ⅰ) 博物館実習Ⅱ (図案実習、彫刻・彫像実習を含む。Ⅰ)			キャリア開発Ⅰ キャリア開発Ⅱ デザイン基礎Ⅰ※ (映像) / 表現を含む。Ⅰ デザイン基礎Ⅱ※ 視覚デザインⅠ 視覚デザインⅡ 視覚デザインⅢ 視覚デザインⅣ デザイン概論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 博物館実習Ⅰ※ (学内・見学実習を含む。Ⅰ) 博物館実習Ⅱ (図案実習、彫刻・彫像実習を含む。Ⅰ)
専	教授	瀬戸 典彦 (59) ＜平成31年4月＞ Master of Arts (279) (音楽系) Master of Fine Arts (279) (音楽系)	専	教授	瀬戸 典彦 (60) ＜平成31年4月＞ Master of Arts (279) (音楽系) Master of Fine Arts (279) (音楽系)	専	教授	瀬戸 典彦 (61) ＜平成31年4月＞ Master of Arts (279) (音楽系) Master of Fine Arts (279) (音楽系)
		キャリア開発Ⅰ キャリア開発Ⅱ 美術史Ⅰ 美術史Ⅱ 美術鑑賞Ⅰ 美術鑑賞Ⅱ 論文演習Ⅰ 論文演習Ⅱ 論文演習Ⅲ 論文演習Ⅳ 地域創生演習Ⅲ※ 地域創生演習Ⅴ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 工芸科教育法			キャリア開発Ⅰ キャリア開発Ⅱ 美術史Ⅰ 美術史Ⅱ 美術鑑賞Ⅰ 美術鑑賞Ⅱ 論文演習Ⅰ 論文演習Ⅱ 論文演習Ⅲ 論文演習Ⅳ 地域創生演習Ⅲ※ 地域創生演習Ⅴ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 工芸科教育法			キャリアサポートⅠ キャリアサポートⅡ キャリア開発Ⅰ※ キャリア開発Ⅱ※ 美術史Ⅰ 美術史Ⅱ 美術鑑賞Ⅰ 美術鑑賞Ⅱ 論文演習Ⅰ 論文演習Ⅱ 論文演習Ⅲ 論文演習Ⅳ 地域創生演習Ⅲ※ 論文演習Ⅴ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 工芸科教育法
		鈴木 博 (52) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士			鈴木 博 (53) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士			鈴木 博 (54) ＜平成31年4月＞ 芸術学修士
		メディア芸術基礎Ⅰ メディア芸術基礎Ⅱ アニメ・ゲームⅠ アニメ・ゲームⅡ アニメ・ゲームⅢ アニメ・ゲームⅣ 地域創生演習Ⅳ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			メディア芸術基礎Ⅰ メディア芸術基礎Ⅱ アニメ・ゲームⅠ アニメ・ゲームⅡ アニメ・ゲームⅢ アニメ・ゲームⅣ 地域創生演習Ⅳ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			絵画基礎Ⅰ (映像) / 表現を含む。Ⅰ※ キャリア開発Ⅰ※ キャリア開発Ⅱ※ メディア芸術基礎Ⅰ※ メディア芸術基礎Ⅱ※ アニメ・ゲームⅠ※ アニメ・ゲームⅡ※ アニメ・ゲームⅢ※ アニメ・ゲームⅣ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	准教授	観巻 史子 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（芸術工学）	専任	准教授	観巻 史子 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（芸術工学）	専任	准教授	観巻 史子 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（芸術工学）	専任	教授	観巻 史子 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（芸術工学）			
		絵画基礎Ⅰ （映像制作表現を含む。）※ デザイン基礎Ⅰ※ （映像制作表現を含む。）※ 情報デザインⅠ※ 情報デザインⅡ※ 情報デザインⅢ※ 情報デザインⅣ※ 地域創生演習Ⅰ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			絵画基礎Ⅰ （映像制作表現を含む。）※ デザイン基礎Ⅰ※ （映像制作表現を含む。）※ 情報デザインⅠ※ 情報デザインⅡ※ 情報デザインⅢ※ 情報デザインⅣ※ 地域創生演習Ⅰ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			絵画基礎Ⅰ （映像制作表現を含む。）※ デザイン基礎Ⅰ※ （映像制作表現を含む。）※ 情報デザインⅠ※ 情報デザインⅡ※ 情報デザインⅢ※ 情報デザインⅣ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			メディア芸術基礎Ⅰ※ メディア芸術基礎Ⅱ※ 情報デザインⅠ※ 情報デザインⅡ※ 情報デザインⅢ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			
専任	講師	大堀 恵子 (62) ＜平成31年4月＞ 学士（家政）	専任	講師	大堀 恵子 (62) ＜平成31年4月＞ 学士（家政）	専任	講師	大堀 恵子 (64) ＜平成31年4月＞ 学士（家政）						
		版画Ⅰ 版画Ⅱ 版画Ⅲ 版画Ⅳ 色彩学 地域創生演習Ⅳ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			版画Ⅰ 版画Ⅱ 版画Ⅲ 版画Ⅳ 色彩学 地域創生演習Ⅳ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			版画Ⅰ 版画Ⅱ 版画Ⅲ 版画Ⅳ 色彩学 地域創生演習Ⅳ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ スタジオスキルズ※						
専任	講師	落合 聖麻 (38) ＜平成31年4月＞ 修士（芸術学）	専任	講師	落合 聖麻 (38) ＜平成31年4月＞ 修士（芸術学）	専任	講師	落合 聖麻 (38) ＜平成31年4月＞ 修士（芸術学）	専任	講師	落合 聖麻 (40) ＜平成31年4月＞ 修士（芸術学）			
		デザイン基礎Ⅰ※ （映像制作表現を含む。）※ デザイン基礎Ⅱ※ プロダクトデザインⅠ※ プロダクトデザインⅡ※ プロダクトデザインⅢ※ プロダクトデザインⅣ※ 地域創生演習Ⅳ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			デザイン基礎Ⅰ※ （映像制作表現を含む。）※ デザイン基礎Ⅱ※ プロダクトデザインⅠ※ プロダクトデザインⅡ※ プロダクトデザインⅢ※ プロダクトデザインⅣ※ 地域創生演習Ⅳ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			デザイン基礎Ⅰ※ （映像制作表現を含む。）※ デザイン基礎Ⅱ※ プロダクトデザインⅠ※ プロダクトデザインⅡ※ プロダクトデザインⅢ※ プロダクトデザインⅣ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ スタジオスキルズ※ 美術特別講義Ⅰ※ 博物館実習Ⅰ※ （学内・実習実習を含む。）※ 博物館実習Ⅱ※ （学内・実習実習を含む。）※			デザイン基礎Ⅰ※ （映像制作表現を含む。）※ デザイン基礎Ⅱ※ プロダクトデザインⅠ※ プロダクトデザインⅡ※ プロダクトデザインⅢ※ プロダクトデザインⅣ※ スタジオスキルズ※ 美術特別講義Ⅰ※ 博物館実習Ⅰ※ （学内・実習実習を含む。）※ 博物館実習Ⅱ※ （学内・実習実習を含む。）※			
専任	講師	三浦 輝子 (37) ＜平成31年4月＞ 修士（芸術学）	専任	講師	三浦 輝子 (37) ＜平成31年4月＞ 修士（芸術学）	専任	講師	三浦 輝子 (38) ＜平成31年4月＞ 修士（芸術学）	専任	講師	三浦 輝子 (39) ＜平成31年4月＞ 修士（芸術学）			
		工芸基礎Ⅰ （7/8/9外制作を含む。）※ 工芸基礎Ⅱ※ 染織Ⅰ※ 染織Ⅱ※ 染織Ⅲ※ 染織Ⅳ※ 地域創生演習Ⅱ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			工芸基礎Ⅰ （7/8/9外制作を含む。）※ 工芸基礎Ⅱ※ 染織Ⅰ※ 染織Ⅱ※ 染織Ⅲ※ 染織Ⅳ※ 地域創生演習Ⅱ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			工芸基礎Ⅰ （7/8/9外制作を含む。）※ 工芸基礎Ⅱ※ 染織Ⅰ※ 染織Ⅱ※ 染織Ⅲ※ 染織Ⅳ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			工芸基礎Ⅰ （7/8/9外制作を含む。）※ 工芸基礎Ⅱ※ 染織Ⅰ※ 染織Ⅱ※ 染織Ⅲ※ 染織Ⅳ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			
専任	講師	立花 布美子 (44) ＜平成31年4月＞ 学士（家政）	専任	講師	立花 布美子 (44) ＜平成31年4月＞ 学士（家政）	専任	講師	立花 布美子 (45) ＜平成31年4月＞ 学士（家政）	専任	講師	立花 布美子 (46) ＜平成31年4月＞ 学士（家政）			
		工芸基礎Ⅰ （7/8/9外制作を含む。）※ 工芸基礎Ⅱ※ 陶芸Ⅰ※ 陶芸Ⅱ※ 陶芸Ⅲ※ 陶芸Ⅳ※ 地域創生演習Ⅲ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			工芸基礎Ⅰ （7/8/9外制作を含む。）※ 工芸基礎Ⅱ※ 陶芸Ⅰ※ 陶芸Ⅱ※ 陶芸Ⅲ※ 陶芸Ⅳ※ 地域創生演習Ⅲ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			工芸基礎Ⅰ （7/8/9外制作を含む。）※ 工芸基礎Ⅱ※ 陶芸Ⅰ※ 陶芸Ⅱ※ 陶芸Ⅲ※ 陶芸Ⅳ※ 地域創生演習Ⅲ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ			工芸基礎Ⅰ （7/8/9外制作を含む。）※ 工芸基礎Ⅱ※ 陶芸Ⅰ※ 陶芸Ⅱ※ 陶芸Ⅲ※ 陶芸Ⅳ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ スタジオスキルズ※ 美術特別講義Ⅰ※			
						専任	講師	宮澤 孝子 (30) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）	専任	講師	宮澤 孝子 (31) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）			
								教育倫理※ 教育課程論※ 教育制度論※ 教育実習演習Ⅰ（中・高）※ 教育実習Ⅱ※ （事前・事後指導を含む。）※ 教育実習Ⅲ※ （事前・事後指導を含む。）※						
								伊勢 悠平 (43) ＜令和3年4月＞ 博士（美術）	専任	講師	伊勢 悠平 (44) ＜令和3年4月＞ 博士（美術）			
								絵画基礎Ⅰ （映像制作表現を含む。）※ 絵画基礎Ⅱ※ デザイン基礎Ⅰ※ （映像制作表現を含む。）※ 版画Ⅰ※ 版画Ⅱ※ アニメ・ゲームⅠ※ アニメ・ゲームⅡ※ アニメ・ゲームⅢ※ アニメ・ゲームⅣ※ メディア芸術論※ 地域創生演習Ⅰ※ 地域創生演習Ⅱ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	森 勉美 (66) ＜平成32年 4月＞ 芸術修士			兼任	森 勉美 (66) ＜令和2年 4月＞ 芸術修士	兼任	森 勉美 (67) ＜令和2年 4月＞ 芸術修士		
	壁画Ⅰ 壁画Ⅱ 壁画Ⅲ 壁画Ⅳ				壁画Ⅰ 壁画Ⅱ 壁画Ⅲ 壁画Ⅳ		壁画Ⅰ 壁画Ⅱ 壁画Ⅲ 壁画Ⅳ		
兼任	太田 晴夫 (50) ＜平成32年 4月＞ 博士(美学芸術)			兼任	太田 晴夫 (50) ＜令和2年 4月＞ 博士(美学芸術)	兼任	太田 晴夫 (51) ＜令和2年 4月＞ 博士(美学芸術)		
	美術Ⅰ 美術Ⅱ				美術Ⅰ 美術Ⅱ		美術Ⅰ 美術Ⅱ		
兼任	井上 直美 (44) ＜平成31年 4月＞ 学士(生活美術)	兼任	井上 直美 (44) ＜平成31年 4月＞ 学士(生活美術)	兼任	井上 直美 (45) ＜平成31年 4月＞ 学士(生活美術)	兼任	井上 直美 (46) ＜平成31年 4月＞ 学士(生活美術)		
	工芸基礎Ⅰ （7/8 外制作を含む。） 工芸基礎Ⅱ 漆芸Ⅰ 漆芸Ⅱ 漆芸Ⅲ 漆芸Ⅳ		工芸基礎Ⅰ （7/8 外制作を含む。） 工芸基礎Ⅱ 漆芸Ⅰ 漆芸Ⅱ 漆芸Ⅲ 漆芸Ⅳ		工芸基礎Ⅰ （7/8 外制作を含む。） 工芸基礎Ⅱ 漆芸Ⅰ 漆芸Ⅱ 漆芸Ⅲ 漆芸Ⅳ		工芸基礎Ⅰ （7/8 外制作を含む。） 工芸基礎Ⅱ 漆芸Ⅰ 漆芸Ⅱ 漆芸Ⅲ 漆芸Ⅳ		
兼任	鹿野 明子 (44) ＜平成32年 4月＞ 学士(生活美術)			兼任	鹿野 明子 (44) ＜令和2年 4月＞ 学士(生活美術)	兼任	鹿野 明子 (45) ＜令和2年 4月＞ 学士(生活美術)		
	マンガ・イラストⅠ マンガ・イラストⅣ				マンガ・イラストⅠ マンガ・イラストⅣ		マンガ・イラストⅠ※ マンガ・イラストⅣ※ マンガ・イラストⅢ※ マンガ・イラストⅡ※ 色彩学		
兼任	及川(小林) 聡子 (49) ＜平成32年 4月＞ 修士(美術教育(日本画))								
	日本画Ⅰ 日本画Ⅱ 日本画Ⅲ 日本画Ⅳ								
兼任	安孫子(南條) 三和 (59) ＜平成32年 4月＞ 専門学校卒			兼任	安孫子(南條) 三和 (59) ＜令和2年 4月＞ 専門学校卒	兼任	安孫子(南條) 三和 (60) ＜令和2年 4月＞ 専門学校卒		
	マンガ・イラストⅡ マンガ・イラストⅢ				マンガ・イラストⅡ マンガ・イラストⅢ		マンガ・イラストⅡ※ マンガ・イラストⅢ※ マンガ・イラストⅣ※ マンガ・イラストⅠ※		
兼任	福田 一実 (30) ＜平成32年 4月＞ 高校卒			兼任	福田 一実 (30) ＜令和2年 4月＞ 高校卒	兼任	福田 一実 (31) ＜令和2年 4月＞ 高校卒		
	人形Ⅰ 人形Ⅱ 人形Ⅲ 人形Ⅳ				人形Ⅰ 人形Ⅱ 人形Ⅲ 人形Ⅳ		人形Ⅰ 人形Ⅱ 人形Ⅲ 人形Ⅳ		
兼任	森合 暢子 (38) ＜平成31年 4月＞ 学士(生活美術)	兼任	森合 暢子 (38) ＜平成31年 4月＞ 学士(生活美術)	兼任	森合 暢子 (37) ＜平成31年 4月＞ 学士(生活美術)				
	工芸基礎Ⅰ （7/8 外制作を含む。） 工芸基礎Ⅱ※ ガラスアートⅠ ガラスアートⅡ		工芸基礎Ⅰ （7/8 外制作を含む。） 工芸基礎Ⅱ※ ガラスアートⅠ ガラスアートⅡ		工芸基礎Ⅰ （7/8 外制作を含む。） 工芸基礎Ⅱ※ ガラスアートⅠ ガラスアートⅡ				
兼任	山口 綾子 (44) ＜平成31年 4月＞ 学士(生活美術)	兼任	山口 綾子 (44) ＜平成31年 4月＞ 学士(生活美術)	兼任	山口 綾子 (45) ＜平成31年 4月＞ 学士(生活美術)	兼任	山口 綾子 (46) ＜平成31年 4月＞ 学士(生活美術)		
	工芸基礎Ⅰ （プロダクト制作を含む。） 工芸基礎Ⅱ※ ガラスアートⅢ ガラスアートⅣ		工芸基礎Ⅰ （プロダクト制作を含む。） 工芸基礎Ⅱ※ ガラスアートⅢ ガラスアートⅣ		工芸基礎Ⅰ （プロダクト制作を含む。） 工芸基礎Ⅱ※ ガラスアートⅢ ガラスアートⅣ		工芸基礎Ⅰ （プロダクト制作を含む。） 工芸基礎Ⅱ※ ガラスアートⅢ ガラスアートⅣ ガラスアートⅠ ガラスアートⅡ		
兼任	今井 直樹 (55) ＜平成31年 4月＞ 政治学修士	兼任	今井 直樹 (55) ＜平成31年 4月＞ 政治学修士	兼任	今井 直樹 (57) ＜平成31年 4月＞ 政治学修士	兼任	今井 直樹 (58) ＜平成31年 4月＞ 政治学修士		
	地域工芸論 生活文化論		生活文化論		生活文化論 地域工芸論		生活文化論 地域工芸論		
兼任	満日 俊彦 (64) ＜平成32年 4月＞ 学士(美術)			兼任	満日 俊彦 (64) ＜令和2年 4月＞ 学士(美術)	兼任	満日 俊彦 (65) ＜令和2年 4月＞ 学士(美術)		
	製図Ⅰ 図学Ⅰ 図学Ⅱ インテリアデザインⅠ インテリアデザインⅡ				製図Ⅰ 図学Ⅰ 図学Ⅱ インテリアデザインⅠ インテリアデザインⅡ		製図Ⅰ 図学Ⅰ 図学Ⅱ インテリアデザインⅠ インテリアデザインⅡ		
兼任	三浦 誠 (37) ＜平成32年 4月＞ 学士(文学)					兼任	三浦 誠 (37) ＜令和2年 4月＞ 学士(文学)		
	メディア芸術論						メディア芸術論※		
兼任	飯沢 啓太郎 (68) ＜平成34年 4月＞ 芸術学修士								
	写真Ⅰ 写真Ⅱ								
兼任	佐々木 晃 (63) ＜平成31年 4月＞ 教育学修士	兼任	佐々木 晃 (63) ＜平成31年 4月＞ 教育学修士	兼任	佐々木 晃 (64) ＜平成31年 4月＞ 教育学修士	兼任	佐々木 晃 (65) ＜平成31年 4月＞ 教育学修士		
	美術教諭試験対策講座Ⅰ 美術教諭試験対策講座Ⅱ ライフデザイン 教職概論 生徒指導の理論と方法A （道徳指導の理論及び方法を含む。）		美術教諭試験対策講座Ⅰ 美術教諭試験対策講座Ⅱ ライフデザイン 生徒指導の理論と方法A （道徳指導の理論及び方法を含む。）		美術教諭試験対策講座Ⅰ 美術教諭試験対策講座Ⅱ ライフデザイン 生徒指導の理論と方法A （道徳指導の理論及び方法を含む。）		美術教諭試験対策講座Ⅰ 美術教諭試験対策講座Ⅱ ライフデザイン 生徒指導の理論と方法A※ （道徳指導の理論及び方法を含む。）		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 憲夫 (81) <平成31年4月> 博士(美術)	美術特別講義Ⅱ	兼任	講師	伊藤 憲夫 (81) <平成31年4月> 博士(美術)	美術特別講義Ⅱ	兼任	講師	伊藤 憲夫 (82) <平成31年4月> 博士(美術)	美術特別講義Ⅱ
兼任	講師	及川 久美 (61) <平成32年4月> 学士(家政)	美術特別講義Ⅲ								
兼任	講師	伊藤 豊 (80) <平成32年4月> 専門学校卒	美術特別講義Ⅳ								
兼任	講師	橋本 淑恵 (48) <平成34年4月> 専門学校卒	美術特別講義Ⅴ								
兼任	講師	小野寺 良枝 (80) <平成34年4月> 修士(社会福祉)	美術特別講義Ⅵ					兼任	講師	小野寺 良枝 (59) <令和3年4月> 修士(社会福祉)	美術特別講義Ⅵ 美術特別講義Ⅳ
				兼任	講師	渡辺 一真 (41) <平成31年4月> 学士(文学)	地域創生演習Ⅰ				
				兼任	講師	和田 正幸 (51) <平成31年4月> 教育学士	地域創生演習Ⅱ				
								兼任	講師	安住 英之 (61) <令和3年4月> 修士(美術)	日本画Ⅰ 日本画Ⅱ 日本画Ⅲ 日本画Ⅳ
								兼任	講師	横川 智二 (51) <令和2年4月> 工学修士	横川 智二 (81) <令和2年4月> 工学修士 美術特別講義Ⅲ
				兼任	講師	長谷部 基幹 (87) <令和2年4月> 博士(教育学)	美術特別講義Ⅳ	兼任	講師	西谷部 基幹 (88) <令和2年4月> 博士(教育学)	美術特別講義Ⅳ
				兼任	講師	佐々木 晋文 (54) <令和2年4月> 博士(経済学)	地域創生演習Ⅲ 地域創生演習Ⅳ				
				兼任	講師	藤田 広次 (41) <令和2年4月> 学士(薬学)	アニメ・ゲームⅠ アニメ・ゲームⅡ				
								兼任	講師	大塚 恵子 (84) <令和3年4月> 学士(薬学)	薬学Ⅲ 薬学Ⅳ
								兼任	講師	藤岡 淳 (48) <令和3年4月> 学士(薬学)	美術特別講義Ⅴ 美術特別講義Ⅵ
								兼任	講師	三浦 志士 (44) <令和3年4月> 博士(美術)	地域創生演習Ⅱ 地域創生演習Ⅳ 地域創生演習Ⅴ 地域創生演習Ⅵ
				兼任	講師	佐藤 寛和 (74) <令和3年4月> 学士(デザイン情報学)	美術特別講義Ⅶ				
兼任	教授	菅野 修一 (59) <平成31年4月> 工学博士	化学Ⅰ 化学Ⅱ 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ	兼任	教授	菅野 修一 (59) <平成31年4月> 工学博士	化学Ⅰ 化学Ⅱ 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ	兼任	教授	菅野 修一 (60) <平成31年4月> 工学博士	化学Ⅰ 化学Ⅱ 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ
兼任	教授	土井 豊 (83) <平成31年4月> 体育学修士	スポーツ身体科学 スポーツ	兼任	教授	土井 豊 (83) <平成31年4月> 体育学修士	スポーツ身体科学 スポーツ				
兼任	准教授	橋松 公成 (51) <平成31年4月> 博士(教育学)	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 教育心理学 教育方法論 教育相談 教職実践演習(中・高) 教育実習Ⅰ (事前・事後指導を含む。) 教育実習Ⅱ (事前・事後指導を含む。)	兼任	准教授	橋松 公成 (51) <平成31年4月> 博士(教育学)	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 教育心理学 教育方法論 教育相談 教職実践演習(中・高) 教育実習Ⅰ (事前・事後指導を含む。) 教育実習Ⅱ (事前・事後指導を含む。)	兼任	准教授	橋松 公成 (52) <平成31年4月> 博士(教育学)	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 教育心理学 教育実習ⅠⅡ (事前・事後指導を含む。) 教育実習ⅡⅡ (事前・事後指導を含む。)

兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(卒定)年月＞ 保有学位等	兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(卒定)年月＞ 保有学位等	兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(卒定)年月＞ 保有学位等	兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(卒定)年月＞ 保有学位等	兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(卒定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	菅 野 茂樹 (88) ＜平成32年4月＞ 教育学博士 教育原理 教育制度論 教育課程論 教職実践演習(中・高) 教育実習Ⅰ [事前・事後指導を含む。] 教育実習Ⅱ [事前・事後指導を含む。]												
兼任	教授	池田 順敏 (48) ＜平成31年4月＞ 博士(情報科学) 環境学 統計学 数学	兼任	教授	池田 順敏 (48) ＜平成31年4月＞ 博士(情報科学) 環境学 統計学 数学	兼任	教育学	池田 順敏 (48) ＜平成31年4月＞ 博士(情報科学) 環境学 統計学 数学	兼任	教育学	池田 順敏 (50) ＜平成31年4月＞ 博士(情報科学) 環境学 統計学 数学			
兼任	教授	松尾 広 (57) ＜平成32年4月＞ 工学博士 情報基礎学 教育方法論				兼任	教授	松尾 広 (57) ＜令和2年4月＞ 工学博士 情報基礎学 教育方法論	兼任	教授	松尾 広 (58) ＜令和2年4月＞ 工学博士 情報基礎学 教育方法論			
兼任	教授	三浦 主博 (50) ＜平成32年4月＞ 修士(教育学) 特別支援教育							兼任	教授	三浦 主博 (50) ＜令和3年4月＞ 修士(教育学) 特別支援教育			
兼任	准教授	佐藤 孝 (47) ＜平成31年4月＞ 学士(文学) 英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	准教授	佐藤 孝 (47) ＜平成31年4月＞ 学士(文学) 英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	准教授	佐藤 孝 (48) ＜平成31年4月＞ 学士(文学) 英語Ⅰ 英語Ⅱ						
兼任	講師	工藤 凌 (56) ＜平成32年4月＞ 芸術学博士 キャリア開発Ⅱ キャリア開発Ⅳ				兼任	講師	工藤 凌 (56) ＜令和2年4月＞ 芸術学博士 キャリア開発Ⅱ キャリア開発Ⅳ						
兼任	講師	堀江 敦知子 (44) ＜平成31年4月＞ 博士(生物学) 生物学Ⅰ 生物学Ⅱ	兼任	講師	堀江 敦知子 (44) ＜平成31年4月＞ 博士(生物学) 生物学Ⅰ 生物学Ⅱ	兼任	講師	堀江 敦知子 (45) ＜平成31年4月＞ 博士(生物学) 生物学Ⅰ 生物学Ⅱ	兼任	講師	堀江 敦知子 (44) ＜平成31年4月＞ 博士(生物学) 生物学Ⅰ 生物学Ⅱ			
兼任	講師	星 龍博 (47) ＜平成31年4月＞ 博士(経済学) 経済学	兼任	講師	星 龍博 (47) ＜平成31年4月＞ 博士(経済学) 経済学	兼任	講師	星 龍博 (48) ＜平成31年4月＞ 博士(経済学) 経済学	兼任	講師	星 龍博 (49) ＜平成31年4月＞ 博士(経済学) 経済学			
兼任	講師	庄子 一平 (44) ＜平成31年4月＞ 博士(宗教学) 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ	兼任	講師	庄子 一平 (44) ＜平成31年4月＞ 博士(宗教学) 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ	兼任	講師	庄子 一平 (45) ＜平成31年4月＞ 博士(宗教学) 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ	兼任	講師	庄子 一平 (46) ＜平成31年4月＞ 博士(宗教学) 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ			
兼任	講師	斎藤 伸一郎 (44) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 歴史Ⅰ 歴史Ⅱ	兼任	講師	斎藤 伸一郎 (44) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 歴史Ⅰ 歴史Ⅱ	兼任	講師	斎藤 伸一郎 (45) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 歴史Ⅰ 歴史Ⅱ	兼任	講師	斎藤 伸一郎 (46) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 歴史Ⅰ 歴史Ⅱ			
兼任	講師	横田 尚哉 (54) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 日本国憲法 法學概説	兼任	講師	横田 尚哉 (54) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 日本国憲法 法學概説	兼任	講師	横田 尚哉 (55) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 日本国憲法 法學概説	兼任	講師	横田 尚哉 (54) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 日本国憲法 法學概説			
兼任	講師	徳田 幸雄 (49) ＜平成31年4月＞ 博士(宗教学) 哲学Ⅰ 哲学Ⅱ	兼任	講師	徳田 幸雄 (49) ＜平成31年4月＞ 博士(宗教学) 哲学Ⅰ 哲学Ⅱ	兼任	講師	徳田 幸雄 (50) ＜平成31年4月＞ 博士(宗教学) 哲学Ⅰ 哲学Ⅱ	兼任	講師	徳田 幸雄 (51) ＜平成31年4月＞ 博士(宗教学) 哲学Ⅰ 哲学Ⅱ			
兼任	講師	上之原 博子 (61) ＜平成31年4月＞ 学士(文学) 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	兼任	講師	上之原 博子 (61) ＜平成31年4月＞ 学士(文学) 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	兼任	講師	上之原 博子 (62) ＜平成31年4月＞ 学士(文学) 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	兼任	講師	上之原 博子 (63) ＜平成31年4月＞ 学士(文学) 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ			
兼任	講師	村山 茂 (63) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 仏語Ⅰ 仏語Ⅱ	兼任	講師	村山 茂 (63) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 仏語Ⅰ 仏語Ⅱ	兼任	講師	村山 茂 (64) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 仏語Ⅰ 仏語Ⅱ	兼任	講師	村山 茂 (65) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 仏語Ⅰ 仏語Ⅱ			
兼任	講師	高橋 亨 (37) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 中国語												
兼任	講師	清水 浩一郎 (43) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 日本語基礎 国語表現法	兼任	講師	清水 浩一郎 (43) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 日本語基礎 国語表現法 中国語	兼任	講師	清水 浩一郎 (44) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 日本語基礎 国語表現法 中国語	兼任	講師	清水 浩一郎 (45) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 中国語			
兼任	講師	加美山 裕子 (69) ＜平成32年4月＞ 学士(文学) 道徳教育の指導法 美術科教育法Ⅰ 美術科教育法Ⅱ							兼任	講師	加美山 裕子 (69) ＜令和3年4月＞ 学士(文学) 道徳教育の指導法 美術科教育法Ⅰ 美術科教育法Ⅱ			
兼任	講師	須藤 由子 (61) ＜平成32年4月＞ 教育学博士 特別活動及び総合的な学習の時間 の指導法				兼任	講師	須藤 由子 (61) ＜令和2年4月＞ 教育学博士 特別活動及び総合的な学習の時間 の指導法	兼任	講師	須藤 由子 (64) ＜令和3年4月＞ 教育学博士 特別活動及び総合的な学習の時間 の指導法			

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任 講師	伊藤 優 (52) <平成31年4月> 学士(文学)	兼任 講師	伊藤 優 (52) <平成31年4月> 学士(文学)	兼任 講師	伊藤 優 (53) <平成31年4月> 学士(文学)	兼任 講師	伊藤 優 (54) <平成31年4月> 学士(文学)		
	生涯学習概論		生涯学習概論		生涯学習概論		生涯学習概論		
	博物館概論		博物館概論		博物館概論		博物館概論		
	博物館教育論		博物館教育論		博物館教育論		博物館教育論		
兼任 講師	宮原 俊男 (63) <平成31年4月> 学士(文学)					兼任 講師	宮原 俊男 (63) <令和3年4月> 学士(文学)		
	博物館経営論						博物館経営論		
	博物館展示論						博物館展示論		
兼任 講師	手塚 均 (62) <平成32年4月> 学士(文学)								
	博物館資料論								
	博物館資料保存論								
兼任 講師	佐藤 孝 (67) <平成32年4月> 学士(文学)			兼任 講師	佐藤 孝 (67) <令和2年4月> 学士(文学)	兼任 講師	佐藤 孝 (68) <令和2年4月> 学士(文学)		
	博物館情報・メディア論				博物館情報・メディア論		博物館情報・メディア論		
兼任 講師	小谷 竜介 (50) <平成33年4月> 修士(文化科学)								
	博物館実習Ⅰ (学内・見学実習を含む。)								
		兼任 講師	宮田 賢二 (64) <平成31年4月> 博士(教育学)	兼任 講師	宮田 賢二 (67) <平成31年4月> 博士(教育学)				
			新職概論		新職概論				
				兼任 講師	池田 俊文 (61) <令和3年4月> 学士(体育)	兼任 講師	池田 俊文 (62) <令和3年4月> 学士(体育)		
					スポーツ		スポーツ		
				兼任 講師	新地 進夫 (67) <令和2年4月> 学士(教育学)	兼任 講師	新地 進夫 (68) <令和2年4月> 学士(教育学)		
					博物館資料論		博物館資料論		
				兼任 講師	及川 規 (67) <令和3年4月> 修士(体育)	兼任 講師	及川 規 (68) <令和3年4月> 修士(体育)		
					博物館資料論保存論		博物館資料論保存論		
				兼任 講師	中島 夏子 (43) <令和2年4月> 修士(教育学)	兼任 講師	中島 夏子 (43) <令和2年4月> 修士(教育学)		
					教育課程論Ⅱ		教育課程論Ⅱ		
				兼任 講師	清水 裕文 (67) <令和3年4月> 教育学博士	兼任 講師	清水 裕文 (68) <令和3年4月> 教育学博士		
					教育方法論Ⅱ		教育方法論Ⅱ		
						兼任 講師	曾根 秀 (61) <令和3年4月> 修士(文学)		
							日本語基礎 作話表現法		
				兼任 講師	平出 大 (47) <令和3年4月> 学士(国際学)	兼任 講師	平出 大 (47) <令和3年4月> 学士(国際学)		
					英語Ⅰ		英語Ⅰ		
					英語Ⅱ		英語Ⅱ		
				兼任 講師	大迫 夏史 (48) <令和3年4月> 博士(教育学)	兼任 講師	大迫 夏史 (48) <令和3年4月> 博士(教育学)		
					新職概論		新職概論		
				兼任 講師	佐藤 一郎 (74) <令和3年4月> 教育学博士	兼任 講師	佐藤 一郎 (74) <令和3年4月> 教育学博士		
					キャリア開発Ⅱ		キャリア開発Ⅱ		
				兼任 講師	山崎 智樹 (71) <令和3年4月> 博士(教育学)	兼任 講師	山崎 智樹 (71) <令和3年4月> 博士(教育学)		
					教育課程Ⅱ		教育課程Ⅱ		
				兼任 講師	坂島 那子 (62) <令和3年4月> 博士(心理学)	兼任 講師	坂島 那子 (62) <令和3年4月> 博士(心理学)		
					生涯学習の理論と方法ⅡⅢ (課題学習の理論及び方法を学ぶ。)		生涯学習の理論と方法ⅡⅢ (課題学習の理論及び方法を学ぶ。)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、認可届又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字として記入してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を参照してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、記してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

「特になし」

【令和2年度】

「特になし」

【令和3年度】

- ・専任講師（大堀恵子）定年退職により、令和3年4月1日より伊勢周平専任講師が就任。担当科目「絵画基礎Ⅰ（映像メディア表現を含む。）」「絵画基礎Ⅱ」「デザイン基礎Ⅰ（映像メディア表現を含む。）」「版画Ⅰ」「版画Ⅱ」「アニメ・ゲームⅠ」「アニメ・ゲームⅡ」「アニメ・ゲームⅢ」「アニメ・ゲームⅣ」「メディア芸術論」「地域創生演習Ⅰ」「地域創生演習Ⅱ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」
- ・専任講師（大堀恵子）定年退職により、「版画Ⅲ」「版画Ⅳ」を兼任講師として担当。また「色彩学」担当者を鹿野明子兼任講師に変更。
- ・専任教員の昇任に伴い、鶴巻史子専任准教授の職位を専任教授に変更。「メディア芸術基礎Ⅰ（映像メディア表現を含む。）」「メディア芸術基礎Ⅱ」担当科目追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「地域創生演習Ⅰ」「地域創生演習Ⅱ」担当者の鈴木専 専任教授から伊勢周平専任講師に変更。併せて専任教員が担当していた「地域創生演習Ⅲ」「地域創生演習Ⅳ」「地域創生演習Ⅴ」「地域創生演習Ⅵ」を兼任講師1名に変更。（三浦忠士兼任講師）
- ・教育課程編成上の都合により、「スタディスキルズ」担当者の瀬戸典彦専任教授、大堀恵子専任講師から立花布美子専任講師、落合里麻専任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「美術特別講義Ⅰ」担当者の瀬戸典彦専任教授から立花布美子専任講師、落合里麻専任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「キャリア開発Ⅰ」「キャリア開発Ⅱ」担当者の三上秀夫専任教授から、瀬戸典彦専任教授、鈴木専 専任教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「キャリアサポートⅠ」「キャリアサポートⅡ」担当者の佐藤淳一専任教授から、瀬戸典彦専任教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「絵画基礎Ⅰ（映像メディア表現を含む。）」担当者に鈴木専 専任教授追加。
- ・専任講師（宮澤孝子）の担当科目記載漏れにより、「教育制度論」「教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）」「教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）」「教職実践演習（中・高）」を追加。
- ・兼任教授（宮前 理）の担当科目記載漏れにより、「教育相談」「教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む。）」「教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む。）」「教職実践演習（中・高）」を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「マンガ・イラストⅠ」「マンガ・イラストⅡ」「マンガ・イラストⅢ」「マンガ・イラストⅣ」を1名から2名に変更。（鹿野明子兼任講師、安孫子（南条）三和兼任講師の2名で担当）
- ・教育課程編成上の都合により、「ガラスアートⅠ」「ガラスアートⅡ」担当者を森合暢子兼任講師から山口綾子兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「工芸基礎Ⅰ（プロダクト制作を含む。）」「工芸基礎Ⅱ」兼任担当者から森合暢子兼任講師を削除。
- ・兼任講師（安住英之）の担当科目記載漏れにより、「日本画Ⅲ」「日本画Ⅳ」を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「美術特別講義Ⅲ」の担当者を森岡 淳兼任講師、佐藤寛和兼任講師を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「美術特別講義Ⅳ」の担当者を森岡 淳兼任講師、小野寺良枝兼任講師を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「キャリア開発Ⅲ」「キャリア開発Ⅳ」担当者を工藤 凌兼任講師から、佐藤一郎兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「日本語基礎」「国語表現法」担当者を清水浩一郎兼任講師から菅原 秀兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」の担当者を佐藤 恵兼任講師から平出 大兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「教職概論」の担当者を笠間賢二兼任講師から大迫章史兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「教育原理」の担当者に山沢智樹兼任講師を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「生徒指導の理論と方法A（生徒指導の理論及び方法を含む。）」の担当者に福島朋子兼任講師を追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「教育方法論」の担当者を植松公威兼担任准教授から清水禎文兼任講師に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「教育課程論」の担当者に中島夏子兼任講師追加。
- ・教育課程編成上の都合により、「教育相談」の担当者を植松公威兼担任准教授から宮前 理兼任教授に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「博物館実習Ⅰ（学内・見学実習を含む。）」「博物館実習Ⅱ（館内実習、事前・事後指導を含む。）」の担当者を三上秀夫専任教授から落合里麻専任講師に変更。併せて「博物館実習Ⅰ（学内・見学実習を含む。）」に菊地遼夫兼任講師を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
5	1	4	0	10	0	6	0	5	0	11	0
(5)	(1)	(4)	(0)	(10)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
6	0	5	0	11	0	6	0	5	0	11	0
[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{10} = 110\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{11} = 9.09\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = 0\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)-① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計（F）						後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人		必修		科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	科目
		選択		科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	科目
		自由		科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	科目
		計		科目	計	科目	計	科目	計	科目	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-③ 上記(3)-①・(3)-②の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)													
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)				②の合計数 (b)				③の合計数 (c)			
0	人	必修	:	0	科目	必修	:	0	科目	必修	:	0	科目	必修	:	0	科目
		選択	:	0	科目	選択	:	0	科目	選択	:	0	科目	選択	:	0	科目
		自由	:	0	科目	自由	:	0	科目	自由	:	0	科目	自由	:	0	科目
		計	:	0	科目	計	:	0	科目	計	:	0	科目	計	:	0	科目

(3)-④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{10} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)-⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3)-①、(3)-②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	講師	大堀 恵子	選択	版画Ⅰ	①	R3.3.31付け65歳で定年退職（3）			
				版画Ⅱ	①				
				版画Ⅲ	②				
				版画Ⅳ	②				
				色彩学	②				
				地域創生演習Ⅳ	②				
				卒業研究Ⅰ	①				
				卒業研究Ⅱ	①				
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	8 科目	計	4 科目	計	4 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

1名の定年退職教員に対し、同じ職位の教員を後任として1名補充した。定年退職教員が担当していた科目については、専任教員と兼任教員でそれぞれ担当することとし、学生には履修登録前のガイダンスで周知を行った。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年)	・完成年度前に、定年 規程に定める退職年齢 を超える専任教員の割 合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を 踏まえた適切な運用に 努めるとともに、教員 組織編制の将来構想に ついて検討すること。	遵守事項 完成年度前に定年を迎える 専任教員については、「設 置の趣旨等を記載した書類 項目オ」に記載した通り、 特任教員としての継続雇用 をすることとしている。そ の他教員組織について、設 置届出書の記載に加えて、 新たに若手教員の採用を計 画している。	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	・完成年度前に、定年 規程に定める退職年齢 を超える専任教員の割 合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を 踏まえた適切な運用に 努めるとともに、教員 組織編制の将来構想に ついて検討すること。	遵守事項 完成年度前に定年を迎える 専任教員については、「設 置の趣旨等を記載した書類 項目オ」に記載した通り、 特任教員としての継続雇用 をすることとしている。そ の他教員組織について、設 置届出書の記載に加えて、 新たに若手教員の採用を計 画している。	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	・完成年度前に、定年 規程に定める退職年齢 を超える専任教員の割 合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を 踏まえた適切な運用に 努めるとともに、教員 組織編制の将来構想に ついて検討すること。	遵守事項 完成年度前に定年を迎える 専任教員については、「設 置の趣旨等を記載した書類 項目オ」に記載した通り、 特任教員としての継続雇用 をすることとしている。そ の他教員組織について、設 置届出書の記載に加えて、 新たに若手教員の採用を計 画している。	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	・完成年度前に、定年 規程に定める退職年齢 を超える専任教員の割 合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を 踏まえた適切な運用に 努めるとともに、教員 組織編制の将来構想に ついて検討すること。	遵守事項 完成年度前に定年を迎えた 専任教員2名について、1 名は「設置の趣旨等を記載 した書類項目オ」に記載し た通り、令和3年度から特任 教員として継続雇用した。 もう1名は、当該教員が担 当した美術分野と学生の ニーズが多い映像メディア 芸術分野の両授業を担当で きる若手教員1名を、同じく 令和3年度から採用した。そ の他の教員組織について、 設置届出書の記載に加え て、令和2年度から教職教育 分野の授業を担当できる若 手教員を学内措置により配 置換えした。	履行済

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の審附行為又は
審附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、
具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を
全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。
その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<美術学部 美術表現学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 必修科目32単位、大学共通教養科目の中から22単位以上を修得すること。また、「美術・工芸コース」では、専門科目の「美術」「工芸」区分の科目から16単位以上、「デザイン・メディア芸術コース」では、専門科目の「デザイン」「メディア芸術」区分の科目から16単位以上修得し、124単位以上修得すること。 ② 施設・設備 a 講義室 12室 (1283.59㎡) b 自習室 2室 (105.36㎡) c 図書 15, 597冊	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 「委員会設置規程」に基づき、「東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部FD委員会」を設置し、「東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部FD委員会規程」により運営している。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 原則として8月を除き毎月1回開催している。何れも8割を超す委員の出席があった。今後も同程度の開催及び同程度の出席者動員を行うこととしている。 c 委員会の審議事項等 審議事項は委員会規程で規定する、教員セミナーに関する事項、学生による授業評価に関する事項、教員研修会に関する事項、FD活動報告書に関する事項、SD研修の共同実施に関する事項、その他教員の資質向上に関する事項等である。 ② 実施状況 a 実施内容 ・公開授業及び授業検討会（教員相互の授業参観と授業内容の検討） ・教員セミナー（教員の教育・研究の紹介、優秀教員の授業方法の紹介、内外の講師等による講演、FD・SD活動に係る報告・講習等） b 実施方法 ・公開授業週間を設け教員相互が授業を参観し、当該授業に対する意見交換及び検討を行う。なお、公開授業は原則として全ての授業を対象とする。 ・FD委員会において、本学の教育内容の改善（教職員の資質向上を含む）を目的とした研修内容を設定し教員セミナーを開催する。 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・公開授業週間について、令和2年度前期は8月3日～8月7日、後期は11月16日～11月20日の計2週間に渡り実施し、美術学部の教員全てが、自身が担当する授業を公開した。 ・教員セミナーについて、令和2年度は合計5回開催し、毎回8割を超す教職員の出席があった。 ・令和3年度は、公開授業、教員セミナーのいずれも令和2年度と同様の実施を計画しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大等に関連して弾力的に対応していく。	
---	--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・公開授業を通して、当該授業担当教員及び参観教員が各々授業改善に取り組んでいる。
- ・学生に対する授業評価アンケートを各教員が考察し授業改善に取り組み、その結果を『FD活動報告書』にまとめる。
- ・教員セミナーで取り扱われた課題を踏まえて、オンライン授業の活用など各担当部署が改善への取り組みを推進している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・前期末及び後期末の授業終了時に、原則として全ての授業を対象として実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・アンケートの集計結果を『FD活動報告書』としてまとめ教員に配布するとともに、学生閲覧用として図書館に配架する。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

「該当なし」

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学部設置に伴い、本学園寄附行為、本学学則及び緒規程を一部改正し、令和元年度からは新たに「東北生活文化大学美術学部美術表現学科会議申し合わせ」を制定し定例の会議を開催している。また、美術の教育・研究を専門領域にする学長以下、副学長及び学部の教員を（一部非常勤教員を除く）を届出の趣旨に沿って配置することで、東北地方の美術の教育・研究を推進するとの設置趣旨に沿ったガバナンス体制が整い、これに係る活動が順調に軌道に乗っていると判断できる。教育環境については、デジタル機材など所定の授業を行えるだけの教室及び設備を整備し、現在新たなカリキュラムの下、滞りなく教育活動が行われている。

令和3年度は、令和2年度に引き続き入学定員を確保し、各授業において十分な教育効果が期待されるところである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和2年7月 公表

b 公表方法

・『令和2年度大学機関別認証評価 自己点検評価書』を刊行し、大学HPにて公表するとともに、学生閲覧用として図書館に配架した。

③ 認証評価を受ける計画

・令和2年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審した。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [☐ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☐ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部 FD 委員会規程

東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部

平成 23 年 9 月 9 日 制定

令和元年7月12日 最終改正

(趣旨及び目的)

第 1 条 この規程は、東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部委員会設置規程第 2 条の規定に基づき、東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部 FD 委員会（以下「委員会」という。）の運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

2 委員会は、東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部の教育内容等改善のための組織的な研修及び研究の企画を行い及びこれを推進させるものとする。

3 前項に定めるもののほか、委員会は、教職員に対する SD 研修（大学運営に必要な知識・技能の習得及び能力・資質の向上に資するための研修をいう。以下同じ。）の企画・実施に協力するものとする。

(所掌事項)

第 2 条 委員会は、前条第 2 項及び第 3 項の目的を達成させるため、次の事項を所掌する。

- (1) 教員セミナーに関する事項
- (2) 学生による授業評価に関する事項
- (3) 教員研修会に関する事項
- (4) FD 活動報告書に関する事項
- (5) SD 研修の共同実施に関する事項
- (6) 学生のFD活動への参画に関する事項
- (7) その他教員の資質向上に関し、本委員会において必要と認める事項

(組織)

第 3 条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 各学部及び短期大学部の教員 各 2 人
- (2) 企画課長

2 前項に定めるもののほか、副学長が置かれた場合は、副学長を委員に加える。

(委員長及び副委員長)

第 4 条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

2 前項の規定にかかわらず、副学長が置かれた場合は、副学長をもって委員長に充て、副委員長は委員長が指名する者をもって充てる。

3 委員長は、委員会の会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(委嘱)

第 5 条 委員は、学長が委嘱する。

(任期)

第 6 条 委員の任期は 2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会議)

第 7 条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

第 8 条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開くことができない。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(庶務)

第 9 条 委員会の庶務は、企画課において処理する。

(雑則)

第 10 条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営等に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

- 1 この規程は、平成 23 年 9 月 9 日から施行し、平成 23 年 4 月 27 日から適用する。
- 2 この規程の施行後最初に委嘱される委員の任期は、第 6 条第 1 項本文の規定にかかわらず、平成 25 年 3 月 31 日までとする。

附 則

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 30 年 10 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年7月12日から施行し、平成31年4月1日から適用する。